



資本業務提携等に関する説明会

2025年12月12日 東証 グロース：4579

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料内の免責事項を必ずご参照ください。



- ◆ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ◆ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品(研究開発プログラムおよび化合物)に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。



■ はじめに	…	4
■ 最近の事業進捗	…	5
■ HK inno.N Corporationとの資本業務提携の拡大	…	8
■ カタリストの状況	…	20



はじめに：本説明会でお伝えしたいこと

1

テゴプラザンの ライセンス@日本

当社が創製した胃酸分泌抑制剤 tegoprazan（テゴプラザン）の日本国内の開発・製造・販売権をHK inno.N Corporation（HK inno.N社）に許諾し、日本国内の事業化を託す

2

HK inno.N社との 資本業務提携の拡大

上記のライセンスと共同研究の拡大を軸としてHK inno.N社との資本業務提携関係を強化
持分割合5.98%の株式を新たに割当て当社は約14億円を調達
同社の持ち分は約15.95%に増加

3

通期業績目標達成に 大きく近づく進捗

2025年第4四半期に「その他収入」として10億円以上を計上できる見込み
(確定分 (ファイメクス：4億円；テゴプラザン：400万米ドル))



RaQualia
innovators for life

最近の事業進捗

innovators for life



特許係争 @韓国

テゴプラザン物質特許に関する係争において最終審（@大法院）でも全件勝訴

- 2031年までの韓国におけるテゴプラザン製品（K-CAB®錠）の独占販売権を完全に確立
- 揺るぎない法的保護のもとで市場優位性を盤石なものに

子会社 ファイメクス

アステラス製薬株式会社との共同研究の拡大および一時金受領

- 従来から実施中の共同研究において、新たに2つの標的を追加することで合意
- ファイメクスは一時金4億円を受領
- 開発候補品が同定され新たな医薬品の製品化に至った場合、進捗に応じたマイルストーンとして最大で150億円超の金額と売上高に応じたロイヤルティを受領する可能性

タミバロテン

米国における特許査定

- タミバロテンとがん治療薬の併用療法が有効ながん患者の選択方法、およびレチノイドとがん治療薬との併用医薬に関する発明

テゴプラザン 一時金受領

一時金400万米ドルを受領し当社第4四半期連結業績に計上

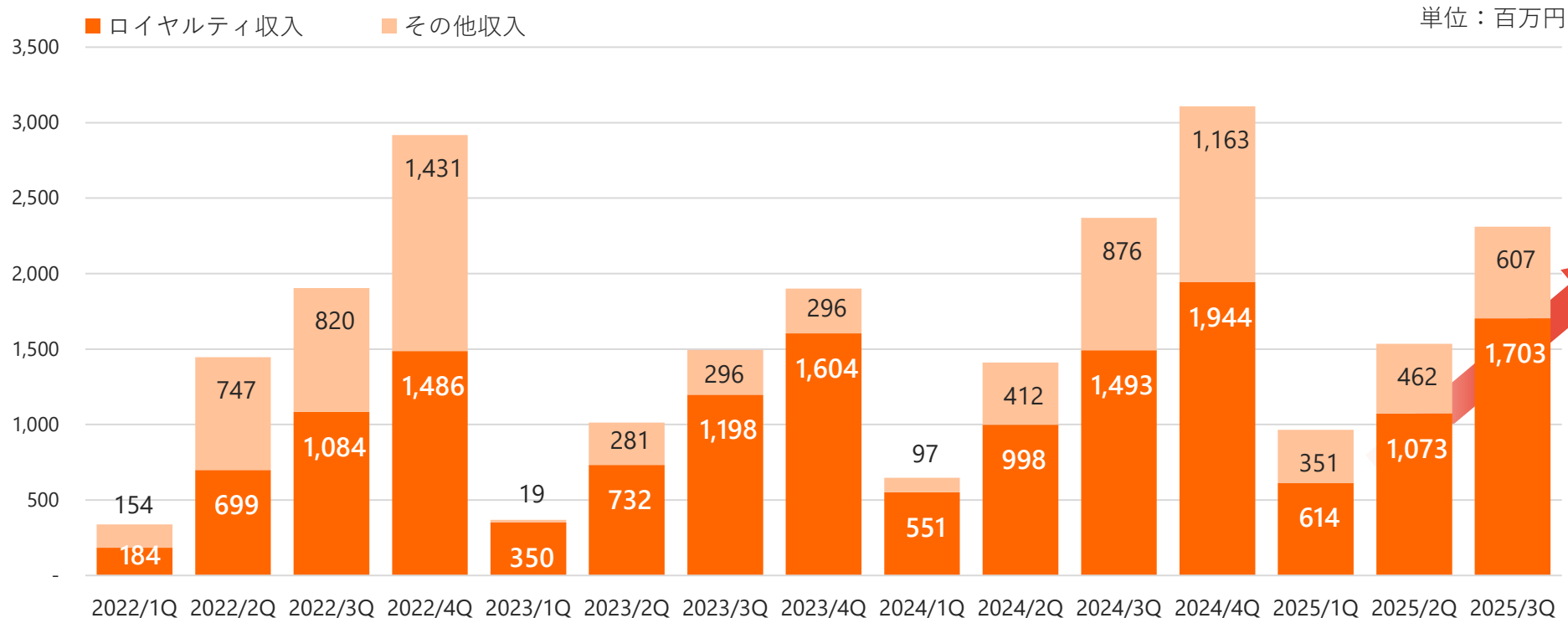
- インドでの販売承認に関するマイルストーン達成の認定によりHK inno.N社から一時金を受領



通期業績目標の達成に向けて

ロイヤルティ収入は前期実績の1,944百万円を上回り、通期で2,000百万円を超えると想定
12月12日現在、第4四半期の「その他収入」としておよそ10億円（4億円+400万米ドル）を確保
これらの上に数字を積み上げ、通期目標の達成を目指す

ロイヤルティ収入・その他収入の推移



2025年12月期通期
連結業績の想定額

その他収入
16億円+ α

ロイヤルティ収入
20億円+ α



RaQualia
innovators for life

HK inno.N Corporationとの 資本業務提携の拡大

innovators for life



RaQualia
innovators for life

ご参考：HK inno.N社について

資本業務提携の拡大等
に関する説明会

40年以上の製薬事業の歴史を持つKOSDAQ上場企業

会社概要・沿革

名称	HK inno.N Corporation
所在地	239, Osongsaengmyeong 2-ro, Osong-eup, Heungdeokgu, Cheongju-si, Chungcheongbuk-do, Republic of Korea
代表者	Kwak, Dal-won
設立年月日	2014年4月1日
事業内容	医薬品製造
資本金	14,452,249,500 ウォン (約1,555百万円、1ウォン=0.1076 円)
発行済株式数	28,329,891株
主な沿革	1984 CJ CheilJedang (CJ第一製糖) 社製薬事業部として事業開始 1992 二日酔い解消剤「コンディション」を発売 2014 分社化によりCJ Healthcare社設立 2018 買収によりKolmarグループに編入 2020 HK inno.N Corporationに社名変更

コルマグループの医薬品事業の中核



医療用医薬品と健康・美容領域の2軸

医療用医薬品



消化器疾患



心血管疾患



輸液



腎・内分泌疾患

健康・美容



二日酔い予防/軽減



健康飲料



ヘアケア



スキンケア



ご参考：前回の資本業務提携（「原提携」）の概要

資金調達および割当予定先と当社との間の戦略的なパートナーシップの構築を目的として、当社の長年のパートナーであるHK inno.N Corporation（HK inno.N社）との間で、資本業務提携を実施

資本業務提携の概要

資本業務提携の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 資金調達による財務基盤の強化 2. 割当予定先との連携による研究開発ほかの分野での相乗効果
発行決議日	2025年3月21日（金）
払込期日	2025年4月18日（金）
発行新株式数	普通株式2,592,100株
発行価格	1株当たり397円（2025年3月19日終値）
調達資金の額 （差引手取概算額）	1,017,847,700円
募集又は割当の方法	第三者割当の方法
業務提携の主な内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. テゴプラザンの日本国内での事業化に関する協力 2. 当社が保有する開発化合物の価値向上に関する協力 3. 共同研究の実施 4. その他の研究開発に関する協力



RaQualia
innovators for life

ご参考：ヒト用医薬品 テゴプラザン製品概要

資本業務提携の拡大等
に関する説明会

カリウムイオン競合型アシッドブロッカー（P-CAB）

（2025年12月1日現在）

胃酸分泌抑制剤テゴプラザン



一般名 tegoprazan（テゴプラザン）

適応症 胃食道逆流症、消化性潰瘍、ピロリ菌除菌療法
ほか

販売元 HK inno.N Corporation（韓国／HK inno.N社）
Shandong Luoxin Pharmaceutical Group Stock
Co., Ltd.（中国／Luoxin社）ほか

製品名 K-CAB®（韓国ほか）、泰欣赞®（中国）、Ki-
CAB®（メキシコほか）、PCAB（インド）



胃酸に関わる疾患は数多い

胃食道逆流症（GERD）、胃潰瘍、ヘリコバクター・ピロリ感染症など



既存薬（プロトンポンプ阻害剤（PPI））の課題を克服

- ✓ 服用30分以内の速やかな効果
- ✓ 最長6カ月の長期服用でも有効性・安全性が持続
- ✓ 強力な胃酸分泌抑制能
- ✓ 低い薬物相互作用



世界の消化性潰瘍剤の市場は2兆円規模¹⁾

中国 4,500億円¹⁾、米国 4,000億円¹⁾、日本 2,500億円



日本を除く地域の権利をHK inno.N社に許諾

当社は開発の進捗に応じたマイルストーン/製品売上に応じたロイヤルティを受け取る



韓国・中国など18カ国²⁾で販売中

このほか36カ国に進出

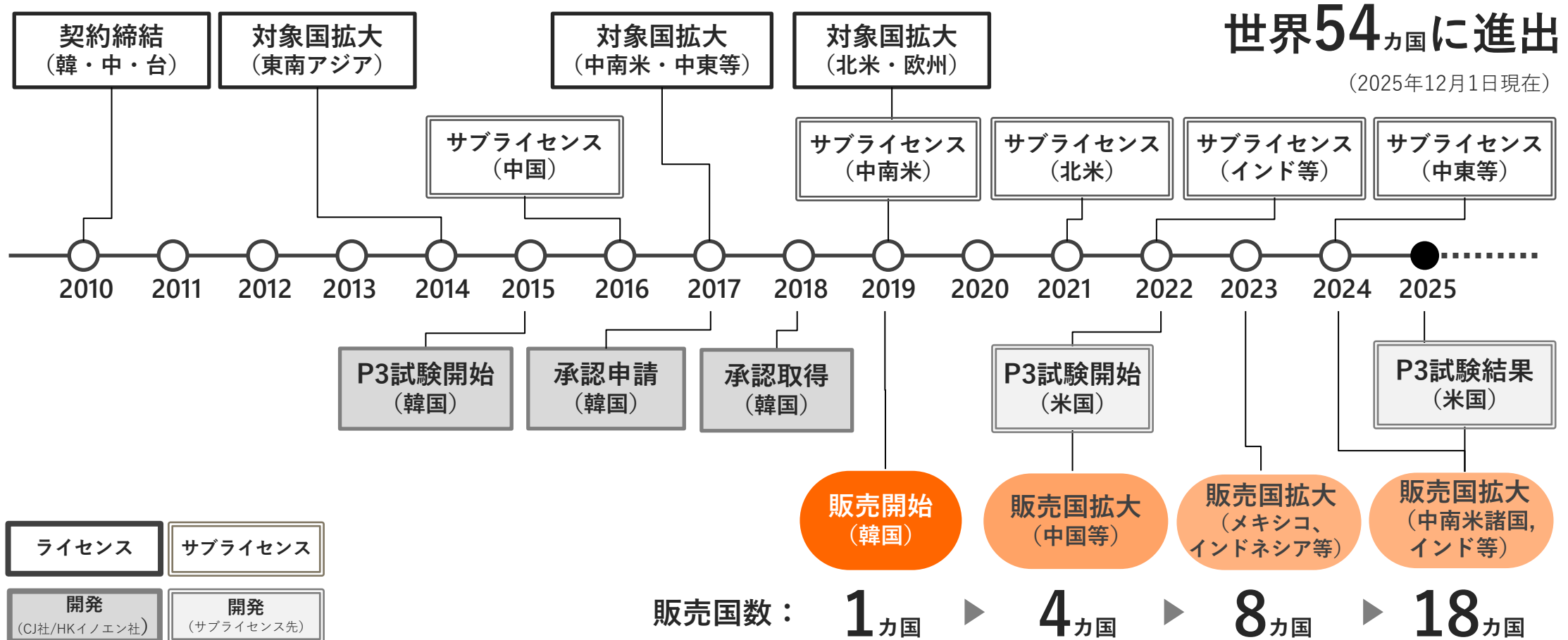
¹⁾ 出所：HKイノエン社IR資料「韓国版」（2023年11月）、換算レート：1韓国ウォン=0.10円

²⁾ 韓国、中国、モンゴル、フィリピン、インドネシア、シンガポール、メキシコ、ペルー、チリ、コロンビア、ドミニカ共和国、ニカラグア、ホンジュラス、グアテマラ、エルサルバドル、パナマ、マレーシアおよびインド



ご参考：HK inno.N社とのパートナーシップ

当社とHK inno.N社の提携関係がテゴプラザンをグローバル新薬に成長させた
両社の連携をさらに深め、**第2、第3のテゴプラザン**を生み出すことが次なる目標



注) 主要な事柄に限定して記載しています。



テゴプラザンの日本展開および研究開発の加速化を目的として、HK inno.N社との資本業務提携の内容を拡大

資本業務提携の拡大の概要

資本業務提携の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 資金調達による財務基盤の強化 2. 割当予定先との連携のさらなる強化
発行決議日	2025年12月12日（金）
払込期日	2026年1月29日（木）
発行新株式数	普通株式1,555,900株
発行価格	1株当たり907円（発行決議日前日までの直前1カ月間の終値の平均値）
調達資金の額	1,411,201,300円
募集又は割当の方法	第三者割当の方法
業務提携拡大の主な内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当社の割当予定先に対する、日本におけるtegoprazanの独占的な開発・製造・販売権の許諾 2. 当社が保有する開発化合物の価値向上に関する協力 3. 共同研究の実施 4. その他の研究開発に関する協力



テゴプラザン日本の導出

胃酸分泌抑制剤 tegoprazanについて、日本を対象とした独占的な開発・製造・販売権を割当予定先であるHK inno.N社に許諾

本ライセンスに基づき、HK inno.N社は、2026年以降、日本国内での臨床開発をはじめとする事業化の取り組みを進める予定

ライセンスの概要

許諾対象	tegoprazan(RQ-00000004)の日本国内の特許権及び関連ノウハウ
許諾製品	許諾対象を含有する製品
テリトリー	日本国内
許諾用途	ヒトを対象とする全疾患に対する予防、診断及び治療
許諾される権利	テリトリー及び許諾用途における、許諾対象及び許諾製品の研究・開発・製造・販売に関する再実施許諾権付き独占的通常実施権
対価等	<p>契約一時金：無し</p> <p>事業化の進展に応じたマイルストーン：有り</p> <p>販売ロイヤルティ：有り</p> <p>割当予定先が提携先から受け取る収益の一部を受け取る権利：有り</p>



持ち株比率の変動

大株主及び持株比率			
募集前（2025年6月30日）		募集後	
氏名	持株比率（%）	氏名	持株比率（%）
KOREA SECURITIES DEPOSITORY-SAMSUNG (KSD)	10.66%	KOREA SECURITIES DEPOSITORY-SAMSUNG (KSD)	16.01%
柿沼 佑一	9.75%	柿沼 佑一	9.17%
ファイザー株式会社	3.04%	ファイザー株式会社	2.86%
東京短資株式会社	1.10%	東京短資株式会社	1.04%
上田八木短資株式会社	1.07%	上田八木短資株式会社	1.01%
株式会社エス・ビー・シー	1.01%	株式会社エス・ビー・シー	0.95%
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	0.92%	モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	0.87%
株式会社アドバンスト・メディア	0.92%	株式会社アドバンスト・メディア	0.86%
JPモルガン株式会社	0.85%	JPモルガン株式会社	0.80%
香本 育良	0.83%	香本 育良	0.78%

※実際の名義は異なるものとなる可能性があります。

注1)募集前の大株主及び持株比率は、2025年6月30日現在の株主名簿をもとに算出しています。

注2)募集後の持株比率の割合は、2025年6月30日現在の発行済株式（自己株式を除く。）の総数に、本件により増加する株式数を加算した数を分母として算定したものであり、2025年7月1日以降の取引の状況によって変動が生じている可能性があります。

注3)上記の割合は、小数点第3位を四捨五入して算出しております。



調達した資金の用途

手取り概算額1,402百万円のうち842百万円については、以下記載の研究開発費に充当
 ※前回の資本業務提携と類似しているが、割当予定先との共同研究と関連した投資として実行予定
 残額559百万円については、シンジケートローンでの銀行借入2,750百万円の返済資金の一部に充当

具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
① 創薬研究基盤の強化	284	2026年2月～2028年12月
標的タンパク質分解誘導剤 (TPD)、mRNA標的低分子をはじめとする新規モダリティとそれに関連した基盤技術に関連した研究開発投資		
② 開発パイプラインの拡充	267	2026年2月～2028年12月
割当予定先との共同研究を通じて新たな開発パイプラインを創出するための試験研究に係る研究開発投資 (消耗品の購入、各種試験の実施等に係る費用)		
③ 試験研究用の実験研究機器等の設備強化	291	2026年2月～2028年12月
探索研究活動の業務の効率化や成功確率を高めるための設備投資		
④ シンジケートローン返済	559	2026年3月～2027年3月
合計	1,402	



発行条件の概要

発行価格の算定

発行価格 1株当たり907円

- 一時的な株価変動の影響等、特殊要因を排除でき、取締役会決議日前営業日までの直前1カ月間の終値平均値を基準として採用

比較対象	平均価格	プレミアム・ディスカウント
前日終値	1,302円	30.34%のディスカウント
直近3カ月平均	677円	33.97%のプレミアム
直近6カ月平均	615円	47.48%のプレミアム
前回の割当	397円	128%のプレミアム

- 以下の条件も考慮して総合的に判断
 - 日本証券業協会「第三者割当増資の取扱いに関する指針（2010年4月1日制定）」
 - 割当予定先は払込期日までの約7週間における株価下落リスクを甘受
 - 本株式発行による希薄化
 - 迅速かつ確実な資金調達による中長期的な株式価値の向上への期待

希薄化

希薄率 6.3%（議決権ベース 6.36%）

- 資金調達による事業基盤の強化および株主価値向上を見込むため、本資金調達は希薄化を考慮しても既存株主に十分な利益をもたらすことができる
- 割当予定先は資本業務提携先として当社株式を継続して保有する方針



今回の資本業務提携の拡大に際して、割当予定先、柿沼佑一氏および当社は、株主間契約変更契約を締結し、主に以下の事項に合意

株主間契約の概要

取締役・オブザーバーの派遣

- 割当予定先は、2026年3月以降、取締役候補者2名を指名可能
- 指名候補2名が取締役に就任するまで及び割当予定先が指名した取締役の欠員時に取締役会に出席できるオブザーバー1名を取締役会に派遣可能

優先引受権の設定

- 割当予定先は株式等の発行（公募増資、株式分割、役職員へのストックオプション等を除く）の際、保有割合に応じて、新たに発行される株式等を優先的に引き受けることができる

契約の効力発生・終了の条件

- 払込完了後に効力発生
- 割当予定先または柿沼氏の保有株式が発行済株式総数の5%未満となった場合、自動的に終了



本資本業務提携の意義

本資本業務提携により、グローバル医薬品テゴプラザンの事業化加速、戦略的な提携による企業価値の強化、そして事業基盤の強化を通じて、株主価値の持続的な向上を目指す

1

テゴプラザンの 事業化加速

テゴプラザンの日本国内での事業化をHK inno.N社に託し
日本発のイノベーションを
日本の患者さんに

2

企業価値・成長力の さらなる強化

HK inno.N社の開発力・
グローバルネットワークを
活用した事業展開の加速
(共同研究開発を含む)

3

追加資金による 事業基盤の強化

調達資金で創薬基盤の強化、
開発パイプラインの拡充、
設備投資の強化、
財務健全性の維持を実現



RaQualia
innovators for life

カタリストの状況

innovators for life



RaQualia
innovators for life

カタリストの状況

資本業務提携の拡大等
に関する説明会

2025/11/14に発表した「今後想定されるカタリスト」の進行状況



達成・完了



進行中・待ち

プログラム	想定適応症	地域	研究開発段階	短期 (2025年)	中期 (2026-2027年)	導出先/提携先
テゴプラザン	胃食道逆流症等		フェーズ3	承認申請	承認取得 製品発売	HK inno.N社 Braintree社
			フェーズ1	導出契約締結	国内臨床試験開始	導出先企業
TRPM8遮断薬	慢性疼痛		フェーズ1	臨床試験の進展 (フェーズ1→フェーズ2)		Xgene社
グレリン受容体作動薬	便秘・悪液質	全世界	前臨床	臨床開発準備	導出 臨床試験開始	導出先企業
				導出活動		
IRAK-M分解誘導薬	がん (がん免疫)	全世界	前臨床	臨床開発準備	導出 臨床試験開始	導出先企業
				導出活動		
既存共同研究プログラム	がん	全世界	研究	共同研究の進展 (マイルストーン)		アステラス製薬社
新規共同研究プログラム	未定	全世界	研究	新規契約獲得	新規契約獲得	提携先企業
P2X7受容体拮抗薬	未定	全世界	(非開示)	開発計画の再検討 & 開発再開		旭化成ファーマ社 Lilly社

想定される進捗イベントの内容や時期は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う当社独自の想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

イノベーションの力で、いのちに陽をもたらす



RaQualia
innovators for life

ラクオリア創薬株式会社